

## 今、ESG が注目されている理由



**Shaun Wurzbach**

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス

マネージング・ディレクター、金融アドバイザー・チャンネルのグローバル・ヘッド

この資料は、2020年11月23日に弊社ブログ Indexology® に掲載された文書の翻訳版です。英語版と日本語版の間に内容の相違がある場合は英語をご参照下さい。

英語版 : <https://www.indexologyblog.com/2020/11/23/why-now-for-esg/>

私が司会を務めた最近のオンラインセミナーでは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズのブリー・ウィリアムズ氏をお迎えし、環境・社会・ガバナンス（ESG）データや ESG 投資が現在、重要な転換点を迎えていることについて議論しました。このオンラインセミナーにおいて我々は、アドバイザーからの質問に回答しました。オンラインセミナーに参加できなかった方は、その模様を [ここ](#) からご覧いただけます。時間の制約により、すべての質問に回答することができませんでしたので、この Indexology では、オンラインセミナーで回答できなかった質問を取り上げます。アドバイザーが ESG 投資をどのように、また、どのような方法でポートフォリオに組み入れるべきかに関する質問についてもこの Indexology で考察します。この最初の記事では、「今、ESG 投資が注目されている理由」というテーマで質問をまとめています。続く 2 つ目の記事では、第 2 の関連テーマである「ESG をめぐる議論はどのように変化しているのか？」を取り上げます。

質問：ここしばらくの間、ESG は注目されています。これまでの ESG と、今我々の注目を引いている ESG はどのように異なるのですか？

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズのブリー・ウィリアムズ氏の回答：ESG 投資の世界は変化しています。投資家のエンゲージメント（目的を持った対話）が拡大している一方で、これらの戦略のパフォーマンスに関する詳細なデータや分析が提供されています。その結果、ESG の採用が加速しています。

- 世界的に見ると、ESG 原則をポートフォリオの少なくとも 4 分の 1 に適用している個人投資家および機関投資家の割合は 2019 年に 75% となり、2017 年の 48% から大幅に増加した<sup>1</sup>。
- スコアリング・データに限って言えば、ESG スコアリング・ソリューションの開発に投資する ESG データ・プロバイダーが増えれば増えるほど、レポートや開示を優先する企業が増えると考えられる。結局のところ、非伝統的な分野におけるレポートはすでに増加しているため、我々は財務的な重要性だけに注目することが可能となる。

質問：信じられないほどの資金が ESG に連動していることをいつも耳にしますが、それはすべてその他の国で起きていることですか、それとも機関投資家顧客だけが ESG に投資しているのですか？ ESG 関連の ETF やミューチュアルファンドの動向はどうなっていますか？

ブリー氏の回答：ESGは進化している分野であり、資産ベースや商品提供分野からすると、規模は比較的小さいと言えます。ただし、新たな商品の開発および新たな発行体の参入や、既存の商品からESGへの転換などにより、この分野の動向はよりダイナミックで、多様化しています。

- ESG資産のほとんどは株式投資に関連しており、テーマ別戦略よりも広範なESG戦略に多くの資金が流入している。
- 運用業界では低コスト・ソリューションに対する需要が高まっている。米国でここ2年以内に運用が開始されたESG関連のETFの50%以上ではネット経費率が20bps未満となっている。
- 様々なETFの登場により、ESGへのアクセスが容易になっているため、投資家は運用資産の規模に関係なく投資目的を適切に実現することが可能となっている。

また、ESGに関連するキャッシュフローの動きはダイナミックです。

- 新型コロナウイルスのパンデミックを受けて市場が急落する中で、ファンド・ユニバース全体で3,847億ドルの資金が流出したものの、サステナブル・ファンドは2020年第1四半期に世界中で推定457億ドルの流入超となった<sup>2</sup>。
- 世界のESG関連のETF資産とインデックス型ミューチュアルファンド資産は、2020年5月31日時点の1,700億ドルから2030年までには1兆3,000億ドルを超え、8倍近く増加すると予想されている<sup>3</sup>。

質問：ESGは今後も継続的に注目を集める投資テーマですか？それとも、金融メディアや商品マーケティング分野における一時的なブームに過ぎないのでしょうか？

ブリー氏の回答：以下の3つのトレンドにより、ESGはポートフォリオにおける1つの選択項目としての要素から、ポートフォリオの中核的な要素へと変化しつつあります。

1. 激動の2020年を受け、大きな意識改革が起き、「社会」と「ガバナンス」の問題が注目されている。  
包括的なコーポレート・ガバナンスの新基準として、「環境」リスクおよび「社会」リスクの管理が重視される可能性がある。これにより、財務以外の「環境」、「社会」、および「ガバナンス」要因が長期的なバリュエーションに大きな影響を及ぼす可能性がある。
2. 投資家のエンゲージメントにより、将来の動向が変化している。運用業界では変革が起きており、これにより投資家は以下を行うことが可能となる。
  - ESG要因を組み込み、持続可能なパフォーマンスを追求する
  - 適切なデータに基づき、適切な意思決定を行う
  - コスト効率の高いETFを通じてESGエクスポージャーを得る
  - ESGファンドを通じてポートフォリオをカスタマイズする
3. 投資家層の変化

大規模な富の移転（2030年までに世界の富の移転額は15兆4,000億ドル近くに上る可能性がある<sup>4</sup>）が生じていることや、価値観に基づく生活を重視する風潮が強まっていることにより、ESGの採用が促されています。このような変化はおそらく反響を呼び、政府の規制強化や、機関投資家による投資拡大を通じて、さらに加速すると見込まれます。

<sup>1</sup> BPN パリバ、「[The ESG Global Survey 2019](#)」、2019年

<sup>2</sup> モーニングスター、2020年3月31日

<sup>3</sup> ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ、2020年6月、2020年5月31日時点のモーニングスターのデータに基づいています。

<sup>4</sup> Wealth-X、「A Generational Shift: Family Wealth Transfer Report 2019」、2019年6月

*このブログの記事は意見であり、助言ではありません。免責条項をお読み下さい。*

## S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス免責事項

©S&Pグローバルの一部門である S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC 2020 年。不許複製。Standard & Poor's、S&P、は、S&Pグローバルの一部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・ファイナンシャル・サービシーズ LLC (以下「S&P」) の登録商標です。「ダウ・ジョーンズ」は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズ LLC (以下「ダウ・ジョーンズ」) の登録商標です。商標は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC にライセンス供与されています。本資料の全体または一部の再配布、複製、そして(または)複製を書面による承諾なしに行うことを禁じます。本資料は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、ダウ・ジョーンズ、S&P 或いはそれぞれの関連会社(これらを合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス」という)が必要なライセンスを持たない地域におけるサービスの提供を行うものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC が提供する全ての情報は、個人とは無関係であり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整したものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、その指数を第三者にライセンス供与することに関連した報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表すアセット・クラスへのエクスポージャーは、指数に基づく投資可能商品を通して得られます。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、第三者が提供し、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数のリターンに基づく投資リターンを提供することを目指す投資ファンド、或いはその他のビークルを提供、推奨、販売、宣伝、或いは運用することはありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数に基づく投資商品が指数のパフォーマンスに正確に連動し、プラスの投資リターンを上げることについて保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC は投資顧問会社ではなく、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルに投資する適否に関して表明することはありません。そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルへの投資決定は、本資料で言及されたいかなる部分も信頼して実行されるべきではありません。そうしたファンド或いはその他のビークルに投資しようとする投資家に対して、投資ファンド或いはその他のビークルの発行体またはその代理人が作成する目論見書または類似文書に記載されているように、そうしたファンドへの投資に伴うリスクを注意深く検討した上で投資することを助言します。指数への証券の組入は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによるその証券の買い、売り、または保有の推奨ではなく、また投資助言でもありません。S&P の米国のベンチマーク指数及びダウ・ジョーンズの米国のベンチマーク指数の終値は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが、指数構成銘柄の各主要取引所が設定する終値に基づいて計算します。終値は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスがサードパーティ・ベンダーの 1 社から受け取り、別のベンダーから届く価格と比較することにより検証されます。各ベンダーは終値を主要取引所から受け取ります。日中の実時間価格は、2 次検証を経ずに同様に計算されます。

これらの資料は、信頼できると考えられる情報源から一般に公衆が入手できる情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されたものです。本資料に記載されるいかなる内容(指数データ、格付、クレジット関連の分析とデータ、モデル、ソフトウェア、或いはその他のアプリケーションまたはそれからの出力)も他のいかなる部分(以下「内容」という)も、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによる事前の書面による承認なくして、いかなる形式といかなる手段によっても、改変、リパースエンジニアリング、再製作または配布、或いはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容を、不法な或いは未認可の目的に使用してはいけません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス及びいかなるサードパーティ・データ・プロバイダー及びライセンサー(合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者」という)も、内容の正確性、完全性、適時性或いは利用可能性を保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる過誤、遺漏についても、原因の如何を問わず、内容を用いて得られた結果について責任を負いません。内容は、「現状」ベースで提供されています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、特定の目的または利用に対する販売可能性または適合性についてのいかなる保証も、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、或いは内容が何らかのソフトウェアまたはハードウェア構成により動作することの保証も、以上を含みそれに限定されない、あらゆる明示的または暗示的保証も拒否します。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連して発生する、いかなる直接的、間接的、偶発的、典型的、補償的、懲罰的、特殊な或いは結果的な損害、費用、経費、法的費用、或いは損失に対しても(逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含みそれに限定されず)、たとえ損害の可能性について事前に通告を受けていようと、責任を負いません。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各事業部の活動の独立性と客観性を維持するために、それぞれの活動を他から隔離しています。その結果、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの一部の事業部は、他の事業部では入手できない情報を保有する可能性があります。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各分析プロセスの中で受け取った非公開情報の機密を守る方針及び手順を確立しています。

さらに、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なサービスを、証券の発行体、投資顧問会社、証券会社、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲介業者など多くの組織に提供しています。したがって、これらの組織から報酬その他の経済的便益を受ける可能性があります。これらの組織には、証券やサービスを推奨し、格付け評価し、モデルポートフォリオに組入れ、評価するか別の対応を行う組織が含まれます。

最新のブログ 「[Indexology](https://www.indexologyblog.com)」 (英語) をご覧になりたい方は、こちらのサイト [www.indexologyblog.com](https://www.indexologyblog.com) よりご登録いただけますと、更新の都度メッセージが届きます。